

### 3 需要の変化に対応した持続可能な生産供給体制の確立

県産農林水産物や加工品に対する需要の変化に的確に対応し、持続可能な生産活動が展開できるよう、スマート技術等の導入による省力化・高品質化栽培技術の開発や、環境負荷の低減に資する新たな技術開発など、生産供給体制の強化対策を講じます。

#### ① 実需者のニーズに応える農畜産物の結びつき強化・生産拡大

○ やまぐちの麦DX活用推進事業〔農業振興課〕

8,300千円

#### 事業のポイント

デジタル技術を活用して麦の栽培管理・品質の改善に取り組み、実需者が求める品質・量を安定的に供給できる生産体制の確立を図ります。

#### 【事業概要】

##### ▽ 高品質麦の安定生産支援

- ・生育予測に基づく高精度の栽培管理
- ・品質分析結果に基づく栽培改善

[実施主体] 県農業協同組合

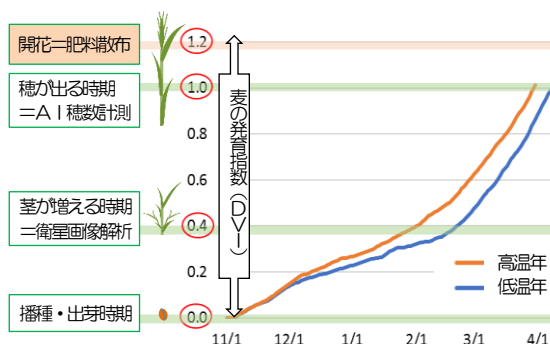
[負担割合] 県1/3、実施主体2/3

##### ▽ 需要のある新品種や麦種への転換推進

- ・実需者が要望する新品種への転換
- ・需要のある小麦への転換

[実施主体] 県農業協同組合

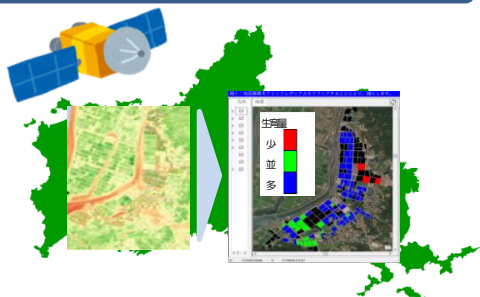
[負担割合] 県1/3、実施主体2/3



生育予測システム (イメージ)



#### 衛星画像解析による生育量診断



#### AIによる穂数計測



生育予測に基づく栽培管理の実践

実需者が求める品質・量を安定的に供給

**新** 需要に応じた水稲作付拡大促進事業〔農業振興課〕 12,000千円

**事業のポイント**

農業振興を図る上で極めて重要な生産基盤（水田）が減少する中、実需者ニーズに柔軟に対応できる水稲生産構造への転換を促進し、水田農業の持続的発展を図ります。

**【事業概要】**

▽ 作付拡大につながる取組の実践

- ・ 地域の水稲作付拡大をけん引する「水田農業先導モデル」の育成  
〔実施主体〕 集落営農法人等  
〔負担割合〕 県1/3、実施主体2/3



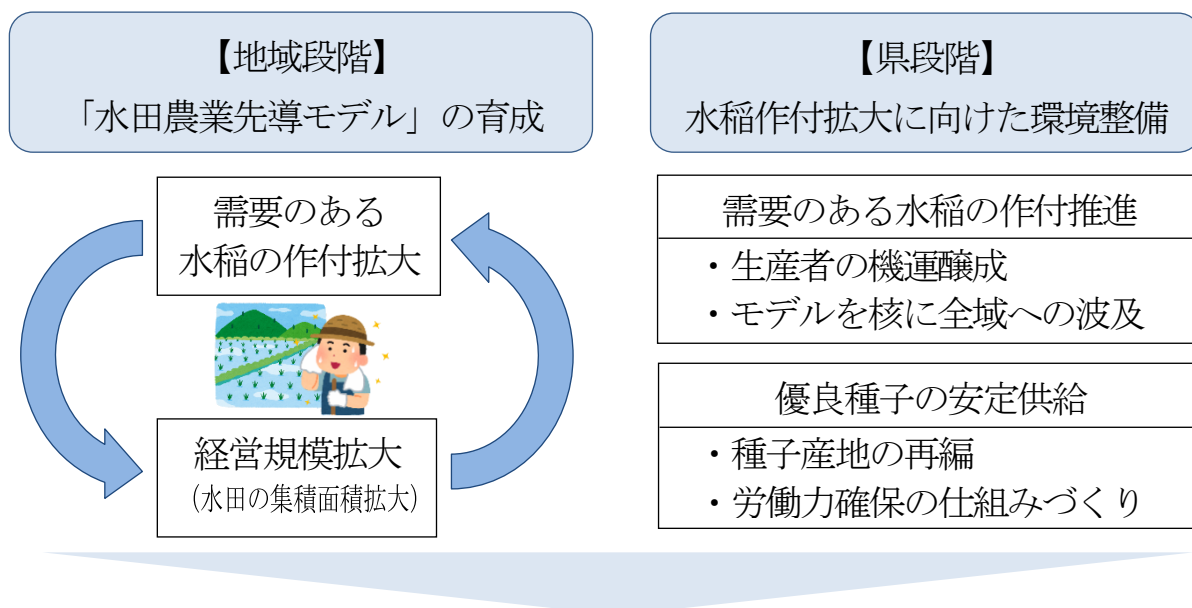
▽ 作付拡大を支える取組の支援

- ・ 優良種子の安定供給等に向けた産地体制の強化  
〔実施主体〕 県農業協同組合等  
〔負担割合〕 県1/3、実施主体2/3



▽ 水稲作付拡大に向けた意識醸成

- ・ 生産者を対象とした米づくり推進大会の開催等  
〔実施主体〕 県  
〔負担割合〕 県10/10



実需者ニーズに柔軟に対応できる水稲生産構造への転換を促進

**新** やまぐち和牛燦生産拡大推進事業 [畜産振興課] 34,500千円

**事業のポイント**

遺伝子解析、受精卵移植等の先端技術や「燦コーディネーター」を活用した県産和牛の高品質化を図るとともに、新たな分野への積極的な需要拡大を行い、「やまぐち和牛燦」の取扱頭数を増やします。

**【事業概要】**

▽ やまぐち和牛燦子牛の高品質化

- ・ 遺伝子解析による繁殖雌牛の能力評価に加え、受精卵移植技術等を活用した高能力肥育用子牛の地域ぐるみの生産

[事業主体] 営農集団等

[負担割合] 県10/10 (定額680千円)



高能力肥育牛

▽ やまぐち和牛燦子牛認定制度の創設

- ・ 県内子牛市場における認定制度の創設

[実施主体] 県農業協同組合

[負担割合] 県1/2、実施主体1/2

▽ やまぐち和牛燦生産農場登録制度の創設

- ・ 県内肥育農家における登録制度の創設
- ・ 燦コーディネーターによる指導助言
- ・ 肥育牛の高品質化に向けた飼養管理改善

[実施主体] 営農集団等

[負担割合] 県1/2、事業主体1/2 (補助上限：2,000千円)

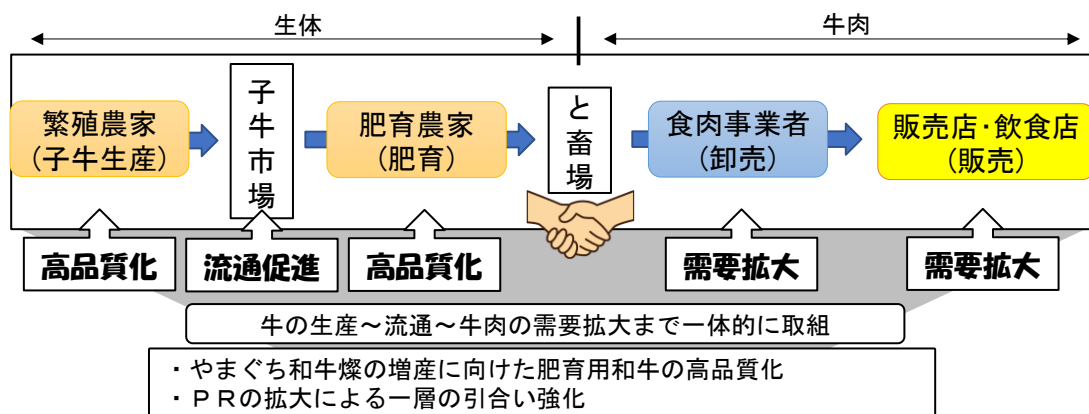


▽ やまぐち和牛燦PRの拡大

- ・ やまぐち和牛燦共励会の開催
- ・ 今後需要が見込まれる宿泊業界等へのPR

[実施主体] 県産和牛ブランド推進協議会

[負担割合] 県1/2、事業主体1/2



**県内農家の収益性向上**



## ○ やまぐち和牛生産総合対策事業 [畜産振興課] 64,943千円

### 事業のポイント

生産基盤の強化のため、肉質やおいしさに優れた種雄牛の育成や高能力雌牛・子牛の増頭対策により、一層の高品質化を推進します。

#### 【事業概要】

##### ▽ やまぐちの牛づくり推進

- ・ 遺伝子解析を活用した優良な種雄牛の選抜
- ・ おいしさ（脂肪酸）に着目した種雄牛の育成によるやまぐち和牛の高品質化

[実施主体] 県

[負担割合] 国1/2、県1/2等



種雄牛の選抜

##### ▽ 高能力雌牛遺伝資源活用促進

- ・ 県内農家への受精卵の安定供給
- ・ 肉用牛農家飼養牛を活用した現地採卵
- ・ 体外受精技術を活用した繁殖雌牛の能力向上

[実施主体] 県 [負担割合] 国1/2、県1/2等



高能力雌牛からの受精卵作出

##### ▽ 増頭対策

- ・ 経済能力の高い繁殖雌牛の導入

[実施主体] 県農業協同組合

[負担割合] 県10/10

- ・ 飼養管理施設の整備

[実施主体] 県農業協同組合・営農集団等

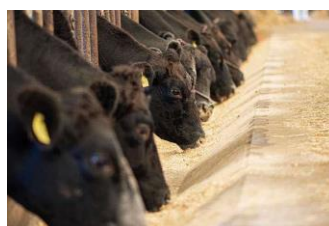
[負担割合] 県1/4、市町1/4、実施主体1/2

##### ▽ やまぐち特産牛振興対策

- ・ 本県固有品種（無角和種・見島牛）の繁殖雌牛の確保による生産力拡大とブランドとしての情報発信

[実施主体] 県

[負担割合] 県10/10



無角和種



見島牛

## ② 需要に応える木材供給力の強化

- 森林経営管理推進総合対策事業〔森林企画課〕 107,974千円  
《森林環境譲与税活用事業》

### 事業のポイント

森林経営管理制度の円滑な運用に向けた市町の取組を総合的に支援し、強い林業の育成と森林の適切な管理を促進します。

#### 【事業概要】

##### ▽ 森林経営管理サポート事業

- ・サポートセンターを活用し、制度に係る相談対応や実務者研修等を実施  
〔実施主体〕 県 〔負担割合〕 県 10/10

##### ▽ やまぐち森林総合情報システム機能強化事業

- ・航空レーザ計測・解析等により、森林資源情報の高精度化・高度利用化、利便性向上を促進  
〔実施主体〕 県 〔負担割合〕 県 10/10、※航空レーザ 県 1/2、市町 1/2



- 木材利用加速化事業〔森林企画課〕 388,930千円

〔2月補正〕 442,128千円

### 事業のポイント

県産木材の生産から加工、利用に係る生産性向上に必要な高性能林業機械の導入や木材加工流通・木質バイオマス利用促進施設の整備を支援し、県産木材供給量の増大を図ります。

#### 【事業概要】

##### ▽ 機械導入や施設整備の支援

- ・素材生産等の効率化に向けた高性能林業機械の導入を支援
- ・木質バイオマス利用量の増大や収集・運搬の効率化に向けた施設等整備を支援  
〔実施主体〕 林業事業者等  
〔負担割合〕 国1/2、実施主体1/2 等



高性能林業機械による木材生産



機械による地拵え



木材破砕機によるチップ製造

○ 森林整備加速化事業〔森林整備課〕 180,000千円  
〔2月補正〕 119,649千円

### 事業のポイント

林内路網の整備や間伐材の生産、低コスト再造林に重点的に取り組み、県産木材の供給力強化と森林資源の循環利用を推進します。

#### 【事業概要】

- ・ 森林作業道、林業専用道の開設
- ・ 搬出間伐による間伐材の生産
- ・ 低コスト再造林（主伐・再造林一貫作業、早生樹植栽）

〔実施主体〕 地方公共団体、森林組合、林業経営体等

〔補助率〕 定額	上限	森林作業道	2千円/m
		林業専用道	35千円/m
		間伐材の生産	665千円/ha
		再造林	805千円/ha 等



再造林（植栽作業）

○ 特用林産物総合対策事業〔森林企画課〕 2,400千円

### 事業のポイント

たけのこ・しいたけ等の特用林産物の生産力強化を図るために必要な技術指導や基盤整備を支援します。

#### 【事業概要】

##### ▽ 生産拡大のための技術指導

たけのこ・しいたけ・木炭の生産技術指導

〔実施主体〕 山口県特用林産物生産振興会

〔負担割合〕 県10/10

県1/2、実施主体1/2



##### ▽ 生産拡大のための基盤整備

竹林整備、椎茸生産施設整備

〔実施主体〕 市町

〔負担割合〕 県1/3、実施主体2/3





## ③ 海洋環境の変化も踏まえた水産資源の管理強化と生産体制の確立

## ○ 漁業生産増大推進事業〔水産振興課〕

22,472千円

## 事業のポイント

水産生物の産卵場や育成場となる藻場・干潟等において、生産増大に資する取組を実施し、漁業生産の増大・漁業所得の向上を図ります。

## 【事業概要】

## ▽ 沿岸域環境改善支援

- ・藻場・干潟・河川の保全・再生活動に対する支援等

[実施主体] 市町 [負担割合] 国7/10、県1.5/10、市町1.5/10

## ▽ 地先・沿岸・沖合の資源管理

- ・キジハタ・ナマコ・トラフグ等の重要資源の調査、資源管理措置の指導

## ▽ 親魚再放流・資源添加

- ・トラフグ等の産卵親魚再放流支援、広域対象種（トラフグ等）の放流支援に対する経費補助

[実施主体] 漁協等、[負担割合] 県1/2、漁協等1/2



## 新 漁業取締船代船建造事業〔水産振興課〕

9,398千円

## 事業のポイント

日本海側の漁業取締船「きらかぜ」が老朽化しており、悪質な漁業違反や密漁への厳格な対応と違反抑止のため、最新鋭の漁業取締船の建造に向けて調査・設計を行います。

## 【事業概要】

## ▽ 漁業取締船代船建造に向けた調査・設計

- ・アルミ軽合金製、総トン数60トン級
- ・必要な速力、夜間監視等における高い探証能力
- ・改正漁業法で開始された特定水産動植物制度（アワビ、ナマコ等の密漁対策）への対応

[実施主体] 県



漁業取締船「きらかぜ」114トン  
H14.1竣工（船齢22年）

○ 内水面漁業振興対策事業〔水産振興課〕

7,272千円

事業のポイント

内水面漁業の振興に必要な河川環境の保全活動や効果的な増殖手法の開発・普及などの施策を総合的に推進することで、内水面漁業の再生・発展を図ります。

【事業概要】

▽ 溪流魚資源増大技術開発

- ・稚魚放流に頼らない増殖方法(産卵場造成等)を開発するとともに、ゾーニング管理(区域ごとに溪流魚の増殖や保全、利用を図る)による効果的な釣り場づくりを漁協に指導・普及  
〔実施主体〕 県



産卵場に産卵した溪流魚の卵

▽ 内水面資源回復対策

- ・アユ資源の有効活用を検討するとともに、これまでの調査実証により解明した科学的知見に基づいた効果的なアユの増殖手法を漁協に指導・普及  
〔実施主体〕 県



アユ産卵場造成の様子

○ 持続的漁場利用推進事業〔水産振興課〕

8,100千円

事業のポイント

高級魚のハタ類等について、科学的な資源調査に基づく管理ルールを提言するとともに、デジタル技術を活用した操業支援システムを構築することで、持続的な漁場・資源利用と漁業者の操業の効率化を図ります。

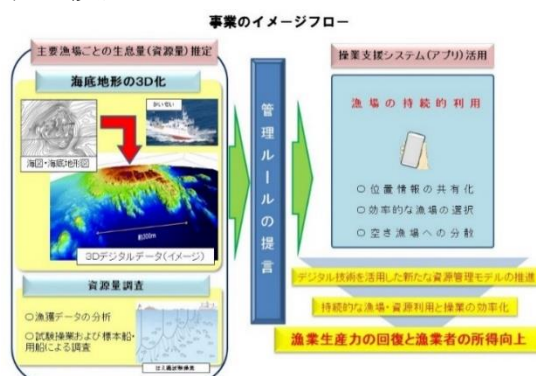
【事業概要】

▽ 管理ルールの提言

- ・漁獲データの分析等により年齢組成ごとの資源量を推定し、体長制限などの効果的な資源の管理ルールを提言し、効果を検証

▽ 操業支援システム構築

- ・漁場ごとの累積操業回数のデジタルデータ化による効率的な漁場選択を支援するなどの操業支援システムを構築  
〔実施主体〕 県





**拡 やまぐち型養殖業推進事業**〔水産振興課〕

29,000千円

**事業のポイント**

本県の特徴を活かした「山口県ならではの」の養殖業対策を強力に講じ、県内外に誇れる地域に根付いたブランドとして振興、普及させていくことで、本県養殖業の成長産業化を図ります。

**【事業概要】**

## ▽ やまぐち型養殖業の普及に向けた実証

- ・水産研究センター等において、地域資源を活用した特色あるウニの養殖試験を実施(みかん皮等による独自の風味付け、海藻等による身入りの改善)
- ・海域別養殖条件の検証

〔実施主体〕 県



## ▽ やまぐち型養殖業推進に係る協議会運営、推進体制整備

- ・やまぐち型養殖業（やまぐちほろ酔い養殖、新たなウニ養殖）の推進に係る協議会の運営、ブランド基準認定、PR実施、養殖に係る研修会開催

〔実施主体〕 県

**拡** (国研) 水産研究・教育機構との共同研究

- ・漁船漁業との複合経営化推進に向けた課題の抽出及び検証
- ・養殖魚生産、流通体制の構築に向けた流通実態調査、出荷手法等の検証

〔実施主体〕 県（委託）



## ▽ やまぐち型養殖業参入スタートアップ支援

- ・やまぐち型養殖業に新規参入する者や漁船漁業との複合経営を開始する者に対し、養殖開始に必要な資材や機器類の整備に係る経費を支援

〔対象経費〕 ①養殖開始に必要な筏等資材

②養殖業省力化・スマート化に必要な機器等

〔実施主体〕 養殖業者等

〔負担割合〕 1/2（補助上限 ①：1,500千円 ②：500千円）



**新** 持続可能な漁業経営モデル創出事業〔水産振興課〕 50,000千円

**事業のポイント**

スマート技術や省力化機器等の新技術を搭載したモデル船での実証を通じて、効果等を沖合底びき網漁業をはじめとした各漁業へ横展開することにより、生産性と持続性を両立する漁業経営体を育成します。

**【事業概要】**

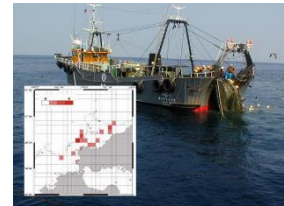
▽ 持続可能な漁業経営モデルの実証

県方針に沿った先進技術、機器等を搭載した「モデル漁船」を選定し、各種実証を支援

- ・海洋環境の変化への適応技術の実証
- ・漁労作業の省力化・軽労化技術の実証
- ・資源状況に応じた操業体制の実証

〔実施主体〕 漁業協同組合

〔負担割合〕 県1/4、市町1/4、漁業協同組合1/2

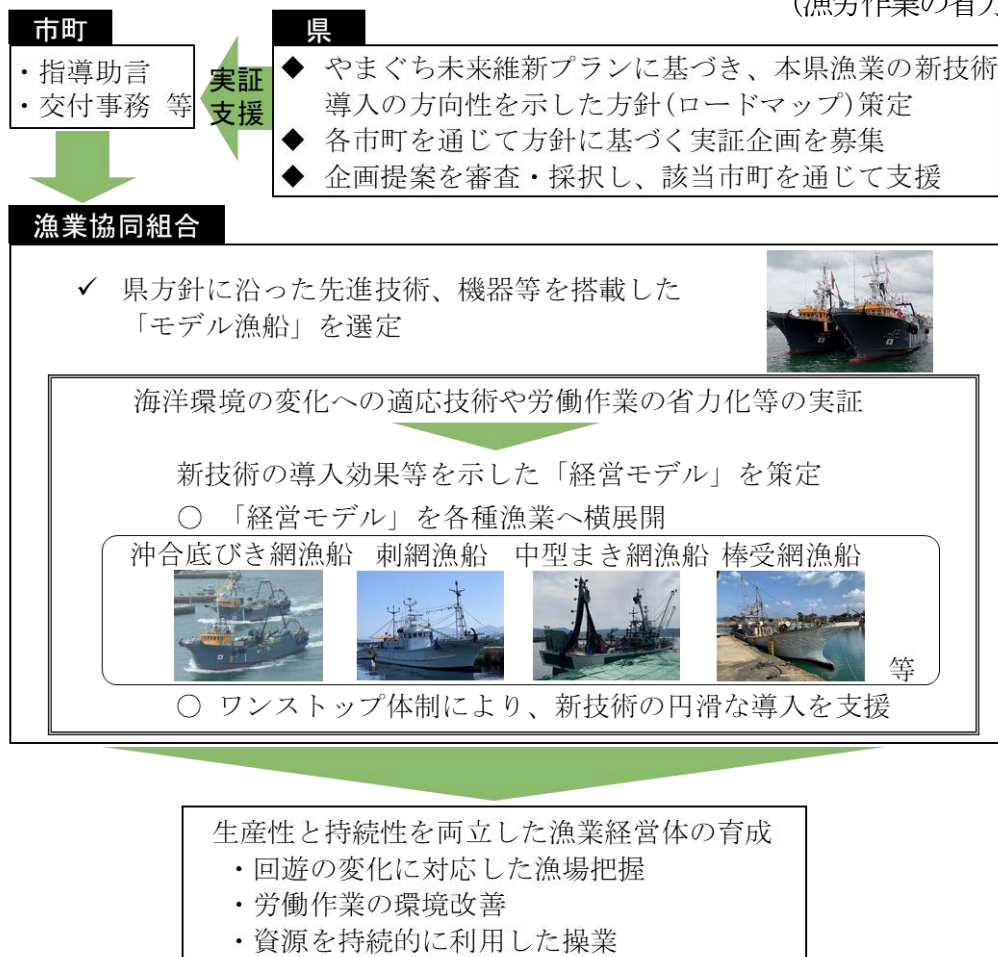


漁場予測実証  
(海洋環境の変化への適応)



遠隔操作ウインチ実証  
(漁労作業の省力化)

**【事業展開イメージ】**



## ④ 安心・安全な農水産物の供給

## ○ グリーンで安心・安全な農業推進事業〔農業振興課〕 72,632千円

## 事業のポイント

有機農業等に関するアドバイザーの養成や、市町等の試行的な取組等を促進するとともに、国際水準GAPの知識習得等を進め、安心・安全な農産物の供給と脱炭素化を通じた持続可能な農業を推進します。

## 【事業概要】

## ▽ 有機農業の推進

- ・有機農業等推進アドバイザーの養成研修  
〔実施主体〕 県 〔負担割合〕 国10/10
- ・市町での試行的な取組を支援、有機農業転換推進等  
〔実施主体〕 市町等 〔負担割合〕 国10/10



## ▽ 環境保全型農業直接支払交付金

- ・環境保全効果の高い営農活動を支援  
〔実施主体〕 農業者の組織する団体等  
〔負担割合〕 国1/2、県1/4、市町1/4



## ▽ エコやまぐち農産物認証制度の推進

〔実施主体〕 県 〔負担割合〕 県10/10



## ▽ 国際水準GAPの導入促進

- ・教育現場でのGAPの実践  
〔実施主体〕 県 〔負担割合〕 国10/10
- ・指導員の育成・指導能力の向上等  
〔実施主体〕 県 〔負担割合〕 国10/10、県10/10
- ・団体認証の普及啓発  
〔実施主体〕 山口県GAP推進協議会  
〔負担割合〕 県1/2 実施主体1/2



## ▽ 農産物の安全性の確認実施体制の支援

〔実施主体〕 県地域農業戦略推進協議会  
〔負担割合〕 県1/3、実施主体2/3



## ⑤ 防疫体制の強化

## ○ 動物由来感染症対策強化事業〔畜産振興課〕

6,735千円

## 事業のポイント

高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)や牛海綿状脳症(BSE)などの動物由来感染症の監視体制を堅持することにより、防疫体制を強化します。

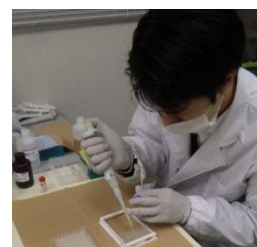
## 【事業概要】

## ▽ HPAI対策

- ・ 早期発見のためのモニタリング検査
- ・ 発生予防のための農場への立入指導
- ・ 農場からの定期的な死亡羽数報告
- ・ 発生時の迅速かつ的確な防疫措置のために殺処分等の指揮や調整を行う家畜防疫スペシャリストの研修

## ▽ BSE対策

- ・ 検査対象の死亡牛の処理施設までの輸送費を支援  
〔補助金額〕 3,500円/頭



モニタリング検査



家畜防疫スペシャリスト研修

## ○ 獣医師確保対策事業〔畜産振興課〕

13,030千円

## 事業のポイント

修学資金の貸付けや獣医系大学の訪問のほか、インターンシップの受入れにより、高病原性鳥インフルエンザ等の家畜伝染病の発生予防・まん延防止対策や食の安全対策を担う公務員獣医師の確保に取り組みます。

## 【事業概要】

## ▽ 修学資金の貸付け

- ・ 獣医学生に対して修学に必要な資金を貸付け  
〔国公立大学〕 貸付金額：100,000円/月  
〔私立大学〕 貸付金額：180,000円/月

## ▽ 獣医系大学へのリクルート活動

- ・ 公務員獣医師の業務や修学資金制度等を説明

## ▽ インターンシップの受入れ

- ・ 獣医学生の県内でのインターンシップ旅費を助成  
助成金額：53,570円/人



インターンシップ(現地)



インターンシップ(検査室)

## ⑥ カーボンニュートラルに貢献する持続可能な農林水産業の推進

## ○ やまぐちグリーン農産物等販売促進事業

〔ぶちうまやまぐち推進課〕 6,000千円

## 事業のポイント

グリーン農産物（GAP、エコやまぐち、有機農産物）の販売促進体制の整備や普及啓発により、「環境にやさしい」という潜在的な付加価値を顕在化させ、グリーン農産物の生産拡大につなげます。

## 【事業概要】

## ▽ やまぐちグリーン農産物の販売促進体制の整備

- ・流通販売業者や関係機関等を構成員とする推進組織の運営
- ・産地での現地研修による流通販売業者等とのマッチングの促進
- ・独自の販売促進資材の活用による店舗等での販売促進

## ▽ やまぐちグリーンサポーターの育成

- ・グリーン農産物について専門知識を有する者の育成
- ・イベントや店頭等での消費者の理解促進や、SNS等を活用した情報発信



## ▽ やまぐちグリーン農産物の普及啓発

- ・「グリーン農産物リスト」を活用し、食育授業や農作業体験を促進
- ・産地、生産者団体、消費者の情報交換会等による理解促進



〔実施主体〕 やまぐちの農林水産物需要拡大協議会

〔負担割合〕 県1/2、団体1/2

○ 県産飼料生産・利用拡大促進事業 [畜産振興課] 62,768千円

**事業のポイント**

本県の特徴を活かした飼料生産・利用及び広域流通体制を構築するとともに、病害に強い飼料作物を普及することで、国際情勢等の影響を受けにくい県産飼料への転換を図ります。

**【事業概要】**

▽ 県産飼料生産・利用体制の強化

- ・飼料生産拡大・流通に必要な機器や設備導入を支援

[実施主体] 畜産クラスター協議会等

[負担割合] 県1/2 実施主体1/2



ストックヤード

▽ コントラクター・専門家派遣による飼料増産・協議会連携

- ・飼料生産技術の指導や需給マッチング等を行う専門家を派遣
- ・各畜産クラスター協議会の情報を集約し、耕種農家と畜産農家の連携強化を図る支援体制を構築

[実施主体] 県

[負担割合] 県10/10



飼料用米新品種の栽培実証

▽ 環境負荷軽減飼料の推進

- ・病害に強い飼料用米新品種の普及等

[実施主体] 県

[負担割合] 県10/10





○ エリートツリーコンテナ苗安定供給体制整備事業

〔森林整備課〕 4,670千円

事業のポイント

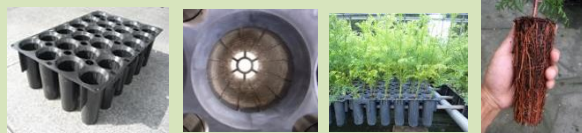
造林コストの低減と作業の省力化・効率化を実現できる「エリートツリーコンテナ苗」の新たな生産技術と安定供給体制の確立・定着を図り、主伐後の再造林率の向上につなげます。

【事業概要】

▽ エリートツリーコンテナ苗の新たな生産技術の確立と普及

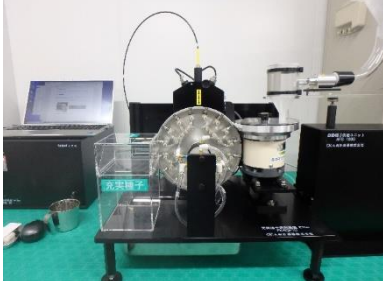
- ・発芽能力の高い種子を活用したコンテナ苗の短期露地栽培技術の実践・実証（育苗期間2年 ⇒ 1年）
  - ・マニュアルの作成
  - ・新たな生産技術の速やかな普及・定着を図る研修会の開催 等
- 〔実施主体〕 県

《 コンテナ苗とは 》



- 専用容器で育成した根鉢付の苗
- 根鉢があるため、季節を問わず植栽可能

① 発芽能力の高い種子の供給



「充実種子選別装置」により発芽能力の高い種子を選別・供給

② 育苗期間の短縮を図る新技術の確立と普及



育苗期間の短縮を図る新技術の確立に向けた調査・分析等



苗木生産者への技術定着を図る研修会の開催

コスト低減による造林費用の抑制と収穫期間の短縮

再造林率の向上

**拡** 森林Jクレジット活用推進事業〔森林企画課〕

9,000千円

**事業のポイント**

森林Jクレジットの創出を支援し、森林所有者等による主体的な取組モデルの構築を図るとともに、さらなる普及啓発に取り組み、Jクレジット制度を活用した適切な森林整備とCO<sub>2</sub>吸収源対策を推進します。

**【事業概要】**

**新** 森林Jクレジット等創出支援補助金の創設

**【プロジェクト計画書の作成支援】**

- ・プロジェクト計画書の作成のために必要な事前調査や書類作成等の支援

〔補助対象〕 森林所有者等

〔補助額〕 森林経営活動：4,000円/ha 再造林活動：59,000円/ha

〔補助率〕 1/2

**【クレジット創出量の算定支援】**

- ・クレジット創出量を算定するための森林資源調査の支援

〔補助対象〕 プロジェクトの登録承認を受けた者

〔補助額〕 航空レーザ計測：1,100円/ha 地上計測：28,000円/箇所

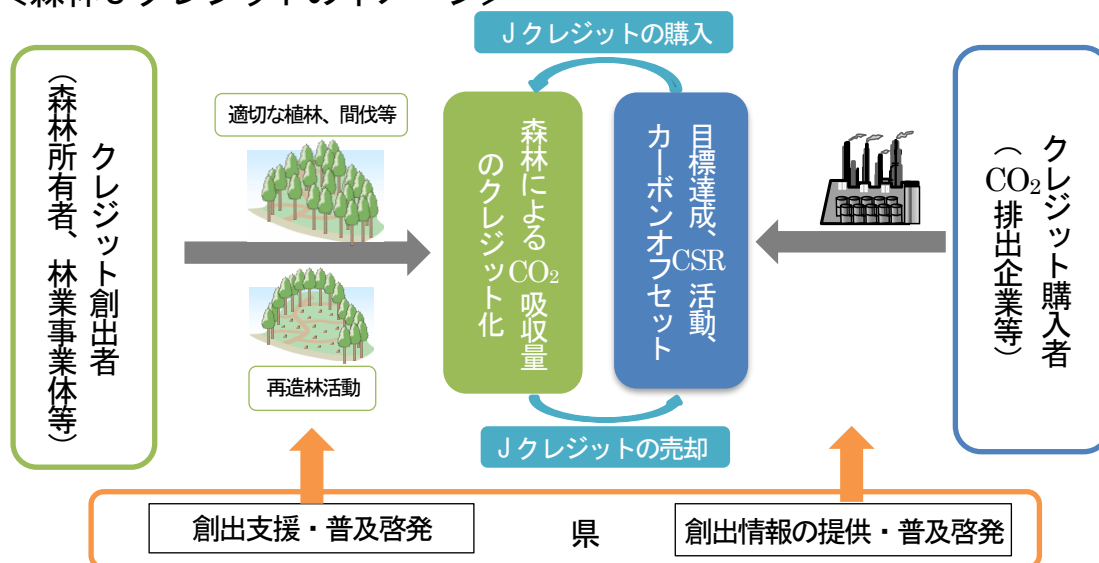
〔補助率〕 1/2

**▽ 県域への普及啓発**

- ・創出者向け、購入者向けに森林Jクレジットセミナー等を開催

〔実施主体〕 県 〔負担割合〕 県10/10

**<森林Jクレジットのイメージ>**



○ 藻場保全によるJブルークレジット活用推進事業

〔漁港漁場整備課〕 6,000千円

事業のポイント

藻場保全活動を持続するためのJブルークレジット申請を支援することにより、県の海域条件に応じたJブルークレジット活用指針を策定し、県内漁港への展開を図ることで藻場の回復・維持につなげます。

【事業概要】

▽ 藻場状況の把握及び活用指針の策定

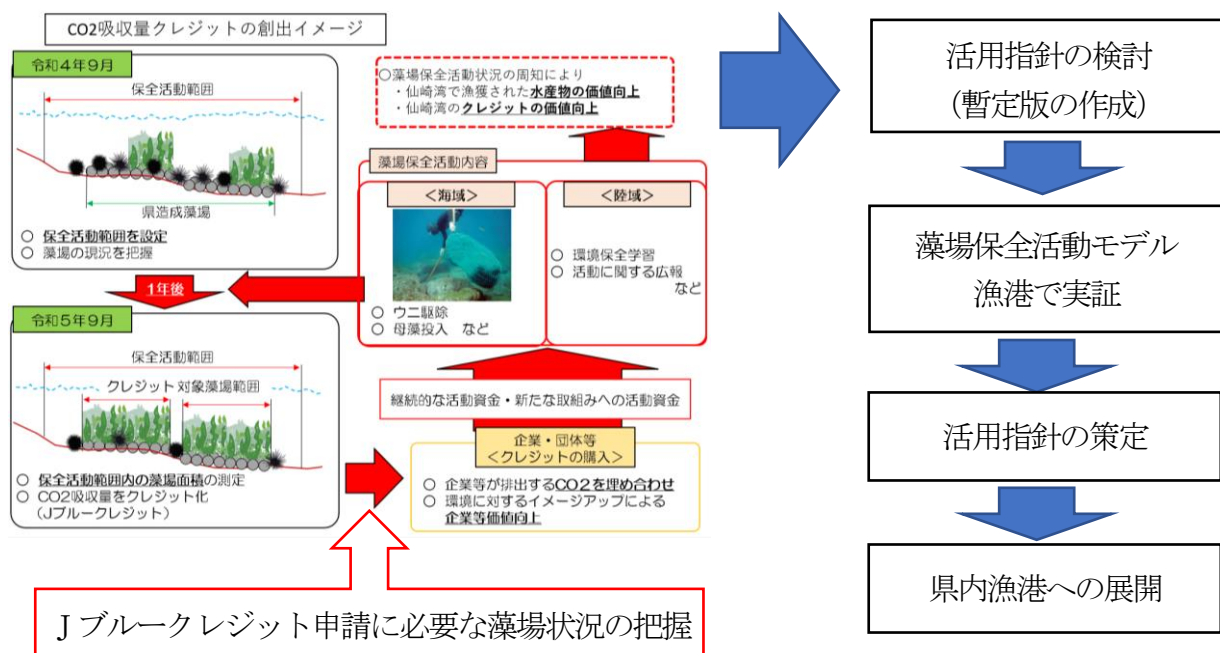
- ・ 航空写真及び潜水調査による藻場面積の把握
- ・ 効率的な藻場保全活動方法等の検討
- ・ 瀬戸内海における他事例の整理
- ・ Jブルークレジット申請結果の整理
- ・ 基礎資料及び活用指針の評価【学識経験者（水産大学校）】

〔対象経費〕 申請等の基礎資料取得、活用指針の策定

〔実施主体〕 県

〔負担割合〕 県1/2、市町1/2

【事業展開イメージ】





⑦ 「農林業の知と技の拠点」等を活用した「山口型スマート技術」の研究開発

○ 「農林業の知と技の拠点」新技術開発・実装加速化事業

〔農林水産政策課〕 116,992千円

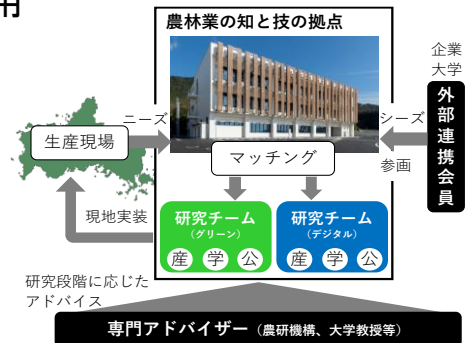
事業のポイント

農林業の知と技の拠点を核として、民間企業等の「外部の力」を積極的に取り入れる「農林業産学公連携プラットフォーム」を活用し、本県生産現場の実情に即した「山口型スマート技術」の研究開発から現地実装まで一貫して取り組みます。

【事業概要】

▽ 「農林業産学公連携プラットフォーム」の活用

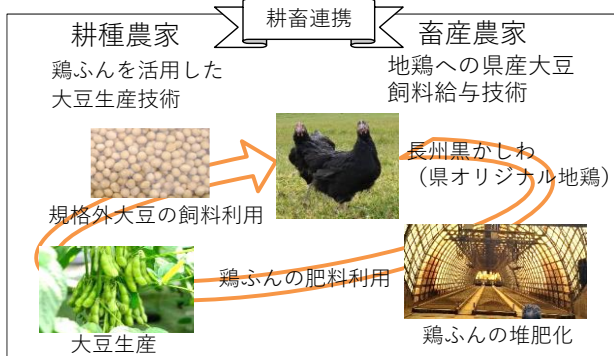
- ・ 専門アドバイザーによる、研究開発への支援
- ・ 外部連携会員の募集、研究への参画
- ・ 技術交流会等による課題解決力向上



▽ 新技術開発・実装

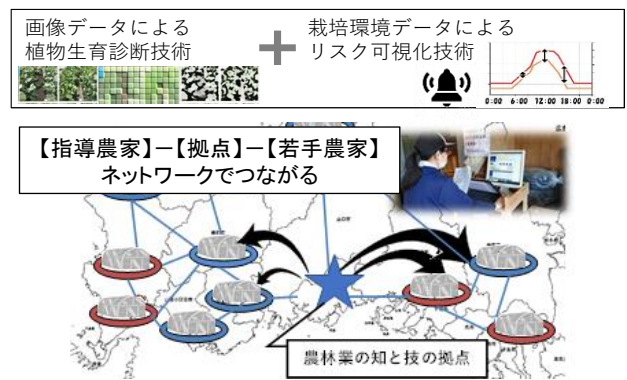
- ・ グリーン研究  
資源循環型農業による大豆の生産コスト低減と地鶏への多給技術の確立 等
- ・ デジタル研究  
施設園芸デジタル化による栽培支援システム構築 等

<グリーン研究(例)：鶏ふんの活用>



畜産・耕種農家が連携し、互いの経営を改善

<デジタル研究(例)：栽培データの活用>

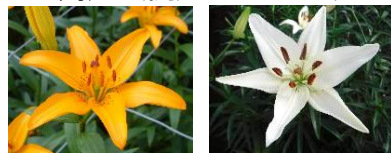


若手農家の技術力UP、農家の経営安定

▽ 知的財産の保護・活用

- ・ 本県が開発した知的財産の国内外での保護と活用
- ・ 県民への理解促進

<知的財産(例)：プチシリーズ>



○ 畜産経営スマート化促進事業〔畜産振興課〕

5,372千円

**事業のポイント**

研修会の開催や畜産コーディネーターの支援を通じて先進技術の導入を促進し、生産性向上と効率的な堆肥の製造・利用を両立させ、畜産経営の体質強化を図ります。

**【事業概要】**

▽ 先進技術の導入促進

- ・「環境調和型スマート畜産推進協議会」による研修会等の開催
- ・畜産コーディネーターによる経営マネジメント支援



環境調和型スマート畜産研修会の様子

▽ 良質堆肥の製造・利用拡大

- ・指導体制の構築、データベースの構築  
[実施主体] 県 [負担割合] 県10/10
- ・堆肥製造監視システムの実装支援  
[実施主体] 生産者団体等  
[負担割合] 県1/2、生産者1/2

